

# 全木連時報

9月15日(土曜日)

(第651号)

平成24年(2012年)

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580) 3215  
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

## 全木連総務委員会 全木協連表彰選考委員会 を 開催

### 振興大会の表彰候補者を決定

全木連、全木協連は、八月八日局より報告、横田副会長(宮崎県木に東京港区の「メルパルク東京」連会長)から大要の説明があった。で、それぞれの総務委員会、表彰選考委員会を合同で開催し、来る十月十七日に宮崎市で開催する全木材産業振興大会における表彰者、候補者を選考した。

会議は、吉条全木連会長、坂東

全木協連会長の挨拶ではじまり、まず、今年度の大会を予定のとおり宮崎市で開催することについて事務局

共の一般社団法人認可の申請手続き等について報告したほか、最近

### 今年の全国木材産業振興大会

#### 10月17日に宮崎市で開催

全木連・全木協連が主催する第四十七回全国木材産業振興大会は、十月十七日に、宮崎県宮崎市の「宮崎観光ホテル」で開催する。

大会の前に関連行事として特別講演会が行われる。「国産材時代を切り拓く九州林業・木材産業」をテーマに東京大学名誉教授有馬孝

「宮崎観光ホテル」で開催する。大会の前に関連行事として特別講演会が行われる。「国産材時代を切り拓く九州林業・木材産業」をテーマに東京大学名誉教授有馬孝氏による基調講演「なぜ、いまスギなのか」に続きパネルディス

目次

- 一面 総務委員会・表彰選考委員会を開き表彰者選考など行う振興大会のおしらせ
- 二面 森林・林業・木材関係施策に関する説明会で林野庁幹部と意見交換
- 三面 全木連・全木協連合同事務局連絡会議
- 四面 おしらせ 景況調査

の活動状況や情勢を報告した。主なものとしては、①木材価格下落に係る当面の対応②再生可能エネルギー電力の固定価格買取制度への対応③全木協連事業の進め方④違法伐採対策事業を取り巻く状況⑤平成二十四年度木材利用推進「全国会議」の開催結果⑥平成二十五年全国会議日程など。

平成25年 全国会議等の日程(案) 平成24年8月8日

月日	曜日	会議名	場所
2月15日	金	全木連、全木協連合同常勤役員・事務局長等会議ほか	木材会館
3月22日	金	全木連、全木協連、木退共、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・通常総会 全木協連 理事会・臨時総会 木退共、理事会 全木政連、常任委員会	木材会館
5月14日	火	全木連、全木協連、木退共、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・通常総会 全木協連 理事会・通常総会 木退共 理事会 通常総会 全木連、全木協連合同懇親会	メルパルク東京
5月15日	水	全木政連 通常総会 全木協連 理事会・社員総会	メルパルク東京
8月上旬		全木連総務委員会、全木協連表彰選考委員会 林野庁による森林・林業・木材関係施策に関する説明会ほか	
10月上旬 又は中旬		全木連、全木協連、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・臨時総会 全木協連 理事会・臨時総会 全木政連 常任委員会	木材会館(予定)
11月21日	木	第48回 全国木材産業振興大会	浦和ロイヤル パインズホテル

# 森林・林業・木材関係施策に関する説明会で林野庁幹部と意見交換

全木連・全木協連は、八月八日、産業課長、阿部木材利用課長、奥正副会長・支部長と林野庁幹部との会議(森林・林業・木材関係施策に関する説明会)を開催し、木材関連全般、広範な問題について率直に要望や意見交換した。

当日の林野庁の出席者は次のとおり。皆川長官、沼田次長、末松林政部長、山口林政課長、安東企画課長、松原経営課長、測上木材



会議は、吉条会長、皆川長官の挨拶に続いて、林野庁より、施策全体について説明があり、その後、意見交換し、閉会した。

## 林業退職金共済制度加入促進強化月間

おしらせ

林業退職金共済制度は、十月一日〜十月三十一日を加入促進強化月間として制度の普及に当たる。この制度は林業従事者のための退職金共済制度

詳しくは、林業退職金共済事業本部(03-6731-2887)

## 各支部からの意見・要望

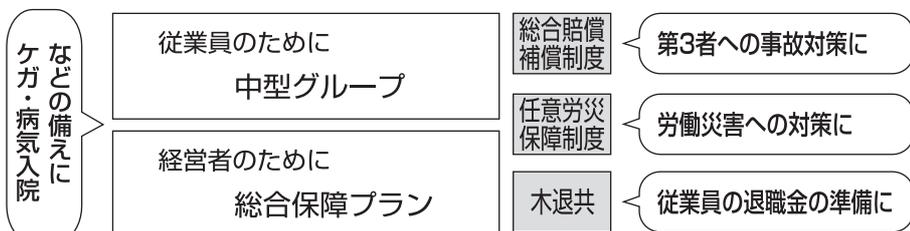
林野庁幹部との会議にあたっては全木連では事前に各支部から意見・要望を集め、林野庁に提出している。

集まった意見・要望は多岐にわたるが、要約次のとおり。

- 木材価格の下落問題への対応
- ・木材・国産材の緊急的拡大
- ・木材エコポイント制度の導入、住宅エコポイント制度の拡充延長
- ・森林整備・加速化基金事業の拡充
- ・需要減・価格大幅下落があるヒノキの需要拡大対策、商品・技術開発
- ・地域材の需給ミスマッチが防げる仕組み・制度・対策の確立
- ・運転資金の円滑な確保、セーフティネット対策、保証機能の充実
- 公共建築物、住宅、商工業施設などへの多様な木材需要拡大について
- ・木造公共施設、特に病院・福祉施設など民間公共施設木造化の支援対策、加速化基金事業の拡大による住宅等への地域材利用促進
- ・公共建築物等への木材利用について、関係省庁との連携強化による組織的取組の確立や地域材供給体制の整備、建設工期等への配慮
- ・地域材利用のオフィス等商工業施設への支援、地域材の高速道路遮音壁への利用徹底
- ・地域型住宅ブランド化事業の拡充・継続、木造仮設住宅のストック支援
- ・JAS製品使用の徹底とその環境整備、合法木材・産地認証材の拡大
- ・木質バイオマスの利用促進、円滑な供給に対する行政指導
- ・新たな広告・普及戦略の確立と実施
- 木材の供給体制整備について
- ・効率的な供給体制整備のための施設、機械整備に対する多様な支援対策、林道・作業道の整備
- ・中大径材、ヒノキの製品・需要開発
- ・原料転換促進のため、原木集荷に支援。北洋材の輸出税見直し、輸出国への合法木材供給の働きかけ
- ・国有林の安定的・計画的な木材供給
- 東日本大震災復興・原発事故関連対応について
- ・被災地域の地域材の活用と生産拡大のために、住宅・事業所等への地域材活用助成、地域材生産加工拡大への支援対策
- ・滞留パーク処理対策、放射能汚染に係る除染、関係地域木材の販売の円滑化対策
- 木材利用・木材産業関連税制について
- ・温暖化対策税の使途に森林吸収源、木材利用対策を位置づけ
- ・消費税引き上げに関連し、駆け込み需要・消費落ち込みに的確な対策、
- 住宅取得に係る免除または軽減
- ・カーボンストック減税制度の導入
- ・住宅建築・購入に係る優遇税制度の継続

## 企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年  
中型グループ



全国木材協同組合連合会  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
TEL 03-3580-3215(代)

# 木材利用・木材産業等に関する

## 会議を開催

### 全木連・全木協連合同事務局連絡会議

全木連・全木協連は、九月七日に東京・江東区新木場の木材会館で、全木連・全木協連合同事務局連絡会議を開催した。各都道府県



木連の事務局の役員ら約六十名が参加した。議題は、①木材利用・木材産業振興に対する施策の動向②全木連・全木協連の業務運営について③会員からの報告提案についてなど。それぞれ、説明を受け、質疑応答、意見交換のうえ、終了した。会議は、尾蘭副会長の司会進行で始まり、林野庁の予算概算要求のあらましについて報告した。その後、全木連・全木協連の取組として、①平成二十五年度税制改正要望②木材価格下落問題の対応③公共建築物等への木材利用推進④木造住宅振興対策の推進⑤木材と放射能汚染⑥全木連・木退共の一般社団法人化⑦全木協連事業の推進⑧第四十七回全国木材産業振興大会について報告した。

年度は当制度開始以来初の配当が出来ず、残念な結果となったが、昨年度に続き、当年度は配当が行えることとなり、加入事業所のご協力に感謝する。

木材業界の事情を反映して、こゝ暫らくの間、新規加入を上回る脱退が続く、保険契約額の減少が著しく、このまま続けば、一昨年度のように配当のない場合も考えられる。当制度の、すぐれた内容、特色をご理解いただき、加入拡充にご協力願いたい。

## 中型グループ

### 共済の加入拡充を

全木協連が運営する中型グループ共済は、傘下事業所役員、従業員の業務上、業務外の事故を幅広く保障する生命共済保険。開始以来三十七年を経て、ただいま三十八年目である。全木協連では共済事業は事業の中核であり、今年度重点的に加入推進にあたることにしている。

## 割安な掛金で

### 大きな保障

この制度の特徴は、割安な掛金で大きな保障が得られること、簡単な手続きで加入できること、一年更新のため経済情勢にあわせ必

要な保障額を選べること、掛金は損金または必要経費に参入できることなど。

## 掛金は45歳男性なら

### 月額486円

掛金は男性、女性とも三十五歳以下は一定、その後年齢に応じ五歳ごとに掛金が変わる。たとえば、男性四十五歳であれば、掛金は月額四百八十六円で、保障内容は不慮の事故により入院した場合は、一日につき千六百五十円の入院給付金、病气死亡のとき百十萬円の死亡保険金が保証される

## こんな場合に

### お役に立ちます

▼二十六歳男性。工場でフォークリフトと木材の間に挟まれ、足を骨折。入院給付金を給付。  
▼二十九歳男性。スキーの間に骨折。入院給付金を給付。  
▼四十九歳男性。トラックに荷物の積込み中、足を滑らせてトラックの荷台から転落。入院給付金を給付。

## 全木検からのお知らせ

### ISO/IECガイド65の改正と認定業務規程の改正案の概要とその対応について

登録認定機関としての登録の要件の一つとして、JAS法第十七条の二により、「国際標準化機構及び国際電気会議が定めた製品の認証を行う機関に関する基準に適合する法人であること」と規程されている。

このたび、国際標準化機構/国際電気会議（ISO/IECガイド65）の基準が改正されることとなり、最終国際規格改正案（ISO/IEC FDIS 17065）の賛成投票が、平成二十四年七月十七日に終了し、九月十五日付けで国際規格として発行された。

登録認定機関は、改正ISO/IEC17065が発効される前に、改正された内容に沿った、認定業務規程の内容に改正することが求められていることから、全木検は、平成二十四年七月三十日付けで「登録認定機関の業務規程変更届書」を農林水産大臣に提出した。現在、FAMIC（独立行政法人農林水産消費安全技術センター）によって改正内容の審査中であり、全木検はFAMICの審査終了後、改正業務規程に基づき、適正な業務を実施することとしている。

## 中型グループ共済の決算

### 事業所配当金は七百六十五万円

全木協連が運営する中型グループ共済の第三十七保険年度（平成二十三年七月～二十四年六月）の

決算の結果、事業所配当金は七百六十五万五千四百二十円となった。これを各加入事業所に支払った。これは配当対象保険料の十九・八

%にあたる。

一方、保険金の給付状況は、主契約、特約をあわせ一千九百四十一万円余と手厚い保障を行った。

中型グループ共済は、一年ごとに収支計算を行い、剰余が生じたときは配当金として支払う。一昨

景況調査

24年9月分集計表 ( )内は実数

〔流通部門〕

モニター数94 回答数57 回収率61%

当月の状況

販売量	増加39% (22)	変わらず49% (28)	減少12% (7)
仕入量	増加30% (17)	変わらず56% (32)	減少14% (8)
販売価格	上昇2% (1)	変わらず93% (53)	下降5% (3)
仕入価格	上昇5% (3)	変わらず91% (52)	下降4% (2)

来月の見通し

販売量	増加43% (24)	変わらず55% (31)	減少2% (1)
仕入量	増加36% (20)	変わらず62% (35)	減少2% (1)
販売価格	上昇9% (5)	変わらず89% (50)	下降2% (1)
仕入価格	上昇13% (7)	変わらず85% (48)	下降2% (1)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	7% (3)	91% (41)	2% (1)
南洋材	11% (5)	84% (37)	5% (2)
北洋材(欧州材を含む)	13% (6)	83% (38)	4% (2)
国産材	9% (5)	83% (44)	8% (4)
建材	15% (7)	74% (35)	11% (5)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	71% (30)	27% (11)	2% (1)

〔製造部門〕

モニター数110 回答数79 回収率72%

当月の状況

販売量	増加55% (43)	変わらず32% (25)	減少13% (10)
仕入量	増加47% (37)	変わらず40% (31)	減少13% (10)
販売価格	上昇1% (1)	変わらず91% (71)	下降8% (6)
仕入価格	上昇29% (23)	変わらず67% (52)	下降4% (3)

来月の見通し

販売量	増加41% (32)	変わらず49% (38)	減少10% (8)
仕入量	増加36% (28)	変わらず55% (43)	減少9% (7)
販売価格	上昇1% (1)	変わらず96% (75)	下降3% (2)
仕入価格	上昇22% (17)	変わらず74% (58)	下降4% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	26% (9)	71% (24)	3% (1)
南洋材	31% (8)	65% (17)	4% (1)
北洋材(欧州材を含む)	25% (7)	68% (19)	7% (2)
国産材	18% (12)	62% (41)	20% (13)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	72% (10)	14% (2)	14% (2)



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

平成24年(2013年)版  
木材PR用カレンダー予約受付中

- ・1社100部単位にて、ご予約受付けます。
- ・ご希望のとおり社名印刷してお届けします。(社名印刷はサービスいたします)
- ・1部700円(社名印刷が昨年と同じ場合は1部680円に引きします)。消費税別。
- ・サイズ 364X515 mm
- ・お申し込みは、全木連(03-3580-3215)まで

『東日本大震災復旧緊急保証』の  
受け付けをしております。

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
- ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金

詳しくは基金までお問い合わせ下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)  
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>

